

環境生命科学研究科専攻案内 (担当教員は平成28年10月1日現在)

1. 社会基盤環境学専攻

講座名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	授業科目名	担当教員
都市環境創成学講座	都市環境計画学	豊かで環境負荷の小さい持続可能な都市空間を創成していくための計画体系についての教育研究を行う。	都市環境計画学	橋本 成仁 准教授
	地域文化風景学	全国レベルでの地域資産（交通、農業、治水等）の発見と公表を通じて、各地の地域文化に合わせた景観演出や地域の魅力の再発見の支援を行うための教育研究を行う。	歴史環境分析学	樋口 輝久 准教授
	陸水循環評価学	流域における水・熱・濃度物質の動態、湖沼や内湾における成層や流動、堆積過程とともに流域からの負荷を受けて変貌する水環境と水圏生態系の持続性に関する基礎分野の教育研究を行う。	流域動態解析	大久保 賢治 教授
	水域環境設計学	自然と共存可能で多様な水域環境の創成に係わる河川、海岸域における水の流動解析と各種水工構造物の水理設計法についての教育研究を行う。	水工環境設計学 水工水理学	前野 詩朗 教授 ※赤穂 良輔 助教 吉田 圭介 准教授
	地盤環境設計学	地盤工学の知見を用いて、都市を主体とした地圏環境の創出、整備及び保全方法についての教育研究を行う。	地盤環境施工学	竹下 祐二 教授 ※金 乗洙 助教
	応用計算力学	計算機を利用した様々な力学・物理・化学現象の解明とその実験的証明についての教育研究を行う。	環境移動現象論 環境構造振動論	西山 哲 教授 木本 和志 准教授
	環境振動エネルギー学	化石資源や原子力に代わり、都市活動、工業生産、農業生産などのすべての文明活動に必要なエネルギーを獲得するため、風、潮流、河川流等で生じる構造物の流体励起振動を利用した流体エネルギー回収技術やその周辺技術に関する教育研究を行う。	環境振動エネルギー工学	比江島 慎二 准教授
農村環境創成学講座	植生管理学	自然環境の中で、人間の生活環境と密接な関係があり、代償植生の構成種となる雑草が有する諸機能を生理生態学的な観点から探究し、生態系における有用な機能の評価も含めて雑草の的確な管理法についての教育研究を行う。	雑草生態学	☆沖 陽子 教授
	水生動物学	水生動物に対する人間活動の影響について生態学的視点から解明するとともに、生物多様性の保全や生物資源の持続的利用の観点から、水生動物の適切な管理手法についての教育研究を行う。	水生動物生態学	中田 和義 准教授
	土壌圏管理学	気圏と岩圏の間接体として存在する土壌圏の有する機能や役割の定量的解明並びに人間活動に伴う土壌圏の状態変化の解明、その変化の修復方を検討することにより、自然の再循環システムの平衡を踏まえた土壌圏の管理法についての教育研究を行う。	土壌圏管理学	前田 守弘 教授
	生産基盤管理学	生物生産の基盤である農地を中心に、土層中における物質・エネルギーの移動を解明するとともに、土地の持続的利用を保障する生産性の高度化、生産基盤の改良と保全、環境への負荷の削減等の管理方法についての教育研究を行う。	農地環境整備学 農地環境工学	森 也寸志 教授
	地形情報管理学	地域空間は人間活動や自然環境に関する広範な情報を包含する。これらを空間情報技術を用いてデータベース化し、空間的分析やシミュレーションに基づき、地域の評価や計画を策定する方法についての教育研究を行う。	地形情報管理学	守田 秀則 准教授
	農村環境水文学	植物の生育に最適な水分環境を創出するため、農地や流域の乾湿の程度を気象データから評価し、灌漑と排水の時期と量の決定法について、さらには地表面近傍での水・熱輸送についての教育研究を行う。	農村環境気象学 灌漑排水学	☆三浦 健志 教授 諸泉 利嗣 教授
	流域水文学	流域における水循環機構並びに洪水や渇水などの流出機構を解明するとともに、それを基礎として、水文流出量の予測や人間活動に伴う水文環境の影響評価、水資源の合理的運用などについての教育研究を行う。	流域水文学 環境水文学	近森 秀高 教授 工藤 亮治 准教授
	環境施設設計学	地域・都市空間におけるコンクリートおよび土構造物、特に、食料生産に重要な役割を果たす水利構造物を対象に、循環型社会の形成に寄与するための性能照査型設計を、ライフサイクルエンジニアリングの立場から教育研究する。	地域環境システム工学 環境施設設計学	西村 伸一 教授 珠玖 隆行 准教授
	環境施設管理学	施設構造物のみならずそれと周辺環境との調和を念頭に置き、環境施設設計学の理念に基づいて設計・施工された各種施設の本来の機能を十分に発揮させるために必要な施設の管理手法についての教育研究を行う。	環境施設管理学	柴田 俊文 准教授
	地域環境経済学	農山村を対象に、地域社会の維持発展や適切な資源管理、自然環境の保全を可能にする制度や取り組みについて社会科学的手法を用いながらその効果・課題を解明するとともに、計画-実践のプロセスを通じて地域の改善を図る手法についての教育研究を行う。	農村環境計画論	九鬼 康彰 准教授
	国際農村環境学	グローバル化が進む現代社会における開発と環境問題の関連性を、国内外の農村における現地調査に基づき社会経済的側面から解明するとともに、「持続可能な開発」を行う方策を、地域に住む人々の立場から考察するための教育研究を行う。	持続的農村システム学 国際開発と環境問題	金 科哲 教授 生方 史数 准教授
	地域景観地理学	生活や文化が具現化された様々な景観、特に、食料生産活動やその背景となる要因を考慮した農業・農村景観を分析し、社会の持続的発展を念頭に置いて景観に関する諸課題を検討することを通じて、人間の生活環境、自然環境及びそれらの関係を主に社会・文化的観点から教育研究を行う。	地域景観地理学	市南 文一 教授

☆印の教員は平成29年3月31日退職予定です。 ※印の教員は指導教員として志望できません。